資料３－２

平成 26 年度業務実績評価に係る意見要旨

１（１－１）救急医療【評価５】

目標指標である救急搬送受入件数及び時間外救急車搬送受入率が、年度計画のみならず中期計画の目標値をも上回っている点は高く評価するものであり、また、市内の主な病院の救急受入患者のうち、約４割を市民病院で受け入れている現状も評価する。（資料ｐ30）

２（１－２）小児医療【評価４】

小児二次救急後送当番回数を増やし、救急搬送をほとんど断ることなく、積極的に受け入れることで、小児の救急搬送受入患者数が前年度より増加している点を評価する。（資料ｐ33）

３（１－５）高度医療【評価３】

年度計画に掲げたとおり、新たに内視鏡センターを開設するなど、中期計画の初年度ということで環境整備を行っている。

今後は、環境整備による患者数の増加に向けて、努力を期待するものである。（資料ｐ37）

４（１－７）がん医療の充実【保留】

ア　目標指標については、放射線治療件数以外すべて目標値未達となっている状況で評価３とするのは難しいのではないか。

イ　目標指標である手術件数のカウントについて見直す点があれば、次回の評価委員会で示してほしい。

ウ　前年度、最新のＣＴを入れた効果について、実績の数値等あれば示してほしい。（資料ｐ39）

５（１－10）安心安全な医療の提供【保留】

ア　インシデント件数の増加等、評価に当たっては、具体的な数値を示してほしい。（資料ｐ46）

６（１－12）医療職の人材確保・養成【評価４】

前年度末から看護師はプラス 13 名となっており、離職率も前年度比マイナス 10.6 ポイントで、全国平均も下回っている点は評価する。

また、目標指標である認定看護師数も目標値を達成しており、関連指標の後期研修医数や看護学生実習受入数についても前年度実績を上回っている。

法人の自己評価は３であったが、これらのことを踏まえて総合的に評定した場合、評価委員会としては、評価４の「年度計画を上回って実施している。」が適当であると判断した。（資料ｐ50）

７（１－18）地域医療のネットワークづくり【保留】

ア　新たに在宅ケアネットの中でケアカフェを開催し、参加者を対象としたアンケート結果から、顔の見える関係が構築できたなど、参加者全員から満足したという回答を得ている点について評価する。（資料ｐ59）

８（１－19）地域医療機関との機能分担と連携【評価２】

地域の診療所訪問回数を大幅に増やすなど、紹介率を上げるための取組は評価できるが、紹介率及び逆紹介率のいずれも目標値に到達していない。市民病院として、紹介状をもたない初診患者も受診しやすい状況となっていることが、目標値未達の要因の一つであることは理解できるが、地域医療支援病院の認定取得に向けてさらなる努力が必要との判断から、評価２「年度計画を十分に実施できていない」が適当であると判断した。（資料ｐ61）

９（２－１）業務運営体制の構築【評価４】

幹部職員を構成員とした経営戦略会議を新設し、さらに各職場においてはＴＱＭ活動発表会を実施し、院外での発表の場を設けるなど、職員の意識向上に努めている。

また、当該年度中、入院患者数の落ち込みが見られた際には、緊急部長会を開催し、部長級職員のヒアリングを実施したことにより実績が持ち直した点などを評価し、評価４「年度計画を上回って実施している。」が適当であると判断する。（資料ｐ63）

10（２－３）医療環境に応じた人員配置【評価３】

※法人の自己評価３に特に意見なし（資料ｐ67）

11（３－１）経営基盤の確立【評価４】

目標指標である経常収支比率及び医業収支比率が、いずれも目標値を上回っており、また、当期総利益として約６億９千万円を計上している点を評価する。（資料ｐ71）

12（３－２）積極的な患者の受入れ（収入の確保）【評価４】

目標指標のうち病床利用率や延患者数は目標値を下回っているが、実入院患者数は増加しており、また、入院外来単価が目標値を上回ったことから、結果的に入院収益、外来収益のいずれも増収となっている点において、全体として収益の確保は図られている。

外来単価については、目標値を上回っているもののさらなる単価増についての検討を期待する。（資料ｐ73）

13（４－１）職員の意識改革【評価４】

幹部職員を構成員とした経営戦略会議の新設及び各職場におけるＴＱＭ活動発表会の実施などにより職員の意識改革に取り組んでいる。法人の自己評価は３であったが、総合的に評定した場合、評価委員会としては、評価４の「年度計画を上回って実施している。」が適当であると判断した。（資料ｐ80）